



2020 Vol. **3**

岡山から広がる大きな可能性
2020年度理事長 一年の振り返り
出向者報告
70周年記念事業・記念式典
2020年度活動報告
地元の“美味しい”はコロナに負けない
-現役会員の飲食店紹介-



Special Talk

岡山から広がる大きな可能性

高山晃一 × 山下貴司

公益社団法人 岡山青年会議所 第70代理事長

自民党所属衆議院議員(岡山2区)・弁護士

新規メンバー 募集中

私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

年齢・資格	満20歳以上39歳以下の品格のある男女
募集期間	随時募集しております。詳しくは下記事務局までお電話にてご連絡ください。
入会に際して必要なもの	◎入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)◎履歴書◎入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと) ◎入会承諾書 ◎作文 題目「岡山JCI入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと※700字以上 ◎会社謄本※資格のみで正業に従事する場合は、資格証の写し ◎本人の住民票 ◎写真※縦4cm横3cm4枚(うち一枚は履歴書に貼付)※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可
公益社団法人岡山青年会議所 事務局	〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階 TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCIではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



発行日 令和2年12月
発行 公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所
広報戦略委員会
委員長: 古山 久幸
林 利光・田口 貴裕・松田 龍乃輔・藤原 由季子
福永 涼人・吉田 拓次・大林 宗高・山口 陽平・上田 憲一郎

暖流

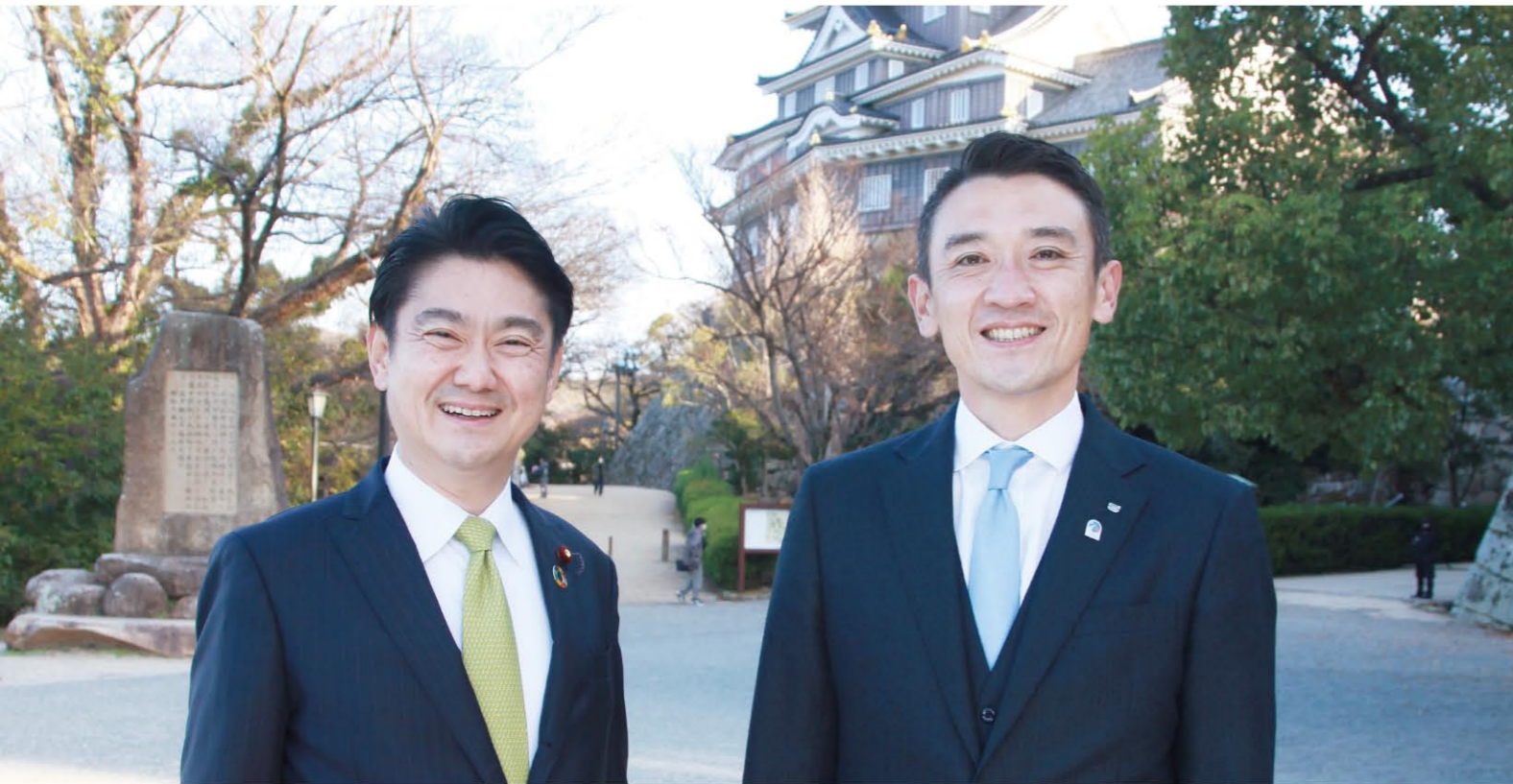
2020年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。青年会議所(JC)は全国に694あり、それぞれが住み暮らす「まち」がより良くなること、地域経済の活性化や地域が抱える問題解決などを目的に活動している、20歳から40歳までの青年経済人で構成される団体です。

岡山青年会議所2020年に予定している事業が次々と中止になる中、コロナの状況においてニューノーマルな事業への転換は必要不可欠でした。その中で、今年掲げております「オンリーワン」のスローガンのもと、少しでも岡山が元気になる事業をお届けできたのではないかと考えております。ご協力を賜りました関係団体の皆様、ご協賛を賜りました各企業の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。次年度の理事長予定者も決定し、本年度と次年度が交差しながら、年末の足音もすぐそこまで近づいている大変慌ただしい時期になりましたが、私自身も最後まで第70代理事長として職務を全うする所存でございますので、岡山青年会議所に対し一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 第70代理事長

高山晃一



公益社団法人
岡山青年会議所
理事長

高山晃一

特別対談 |
SPECIAL TALK

ふるさと岡山から広がる大きな可能性

自民党所属
衆議院議員(岡山2区)
弁護士

山下貴司

法務大臣などを歴任した山下貴司議員に、2020年の総括と、ふるさと岡山への想い、そして岡山青年会議所について語っていただきました。

山下貴司(以下、山下) まずは創立70周年おめでとうございます。僕も皆さんと一緒に岡山と日本を良くしたいと思っていたので、対談にお招きいただき光栄です。

高山晃一(以下、高山) ありがとうございます。今日は山下先生に岡山や青年会議所への想いなど、様々なこととお伺いできればと思います。まず2020年を振り返って、山下先生にとってどんな一年間だったか、総括をお聞かせいただけますでしょうか。

山下 本来であれば東京オリンピックや、令和が始まったばかりの年でもあったのですが、厳しい一年になりました。100年に一度といわれる危機に見舞われて、岡山でも飲食業や観光業を中心に大変な思いをされています。そういった方たちに「議員として何ができるのか」を考えて実行してきた一年でした。

高山 岡山青年会議所も、昨年から様々な事業を準備していましたが、ほとんどが中止や延期になるなど、もどかしい気持ちで過ごした一年でした。しかし、この状況下で何ができるのかを考えて、市民向けにドライブインシアターを開催したり、ドライブスルー



形式のイベントで飲食店の支援事業をしたり、新しい形の事業が生まれた一年でもありましたね。

山下 新型コロナウイルスの感染を防ぐためには何もしないのが一番という方もいますが、一番怖いのがそこで経済の活力や地域の活力が無くなることなんです。

そのため岡山青年会議所の皆さんが実施されたドライブインシアターや、池田動物園へのキリン贈呈などの事業は、岡山に希望を与える、本当にすごい取り組みだと思いますよ。

もちろん命にかかわる感染防止対策が第一なのですが、経済崩壊も防ぐ

たのでしょうか。

山下 刑事ものが好きだったので、学生時代から検事を目指していましたが、その後、政治家になったのには、二つ理由があります。

ひとつは当時の日本や政府の軸が曲がっていると感じたこと。それだから自分が政治を動かしてみようと思ったんですね。もうひとつは、やはり岡山が恋しくなったんです。岡山2区は私がずっと育ってきた地域ですし、故郷と日本のためになるような人間になりたいなと思って、政治の世界に飛び込みました。

高山 山下先生は中学校の大先輩にあたるのですが、私も先生と同じように大学から県外に出ていました。都会に住んでいた頃は、岡山って田舎だなと思っていたのですが、久々に岡山に帰ってみると、すごく可能性があるなと感じたんですね。そこで岡山青年会議所に入ったことは大きな転機になったのですが、まさか理事長を務めさせていただくとは思いませんでした。

山下 特に岡山は四国の玄関口になるんですよ。今、四国の皆さんが新幹線新設を目指して盛り上がりつつありますが、その始発駅は岡山なんです。

必要がある。そのためコロナ禍に合わせる変化していかなければならない。そういった意味では国も青年会議所も同じだと思いますね。

高山 そうですね。私たちもこれからはウィズコロナを前提とした計画を立てるなど、変わっていかなければいけないと思っています。

また岡山は冬になって感染が拡大し始めていますが、東京からご覧になつて、今の岡山の状況はどのように映っているのでしょうか。

山下 まず岡山青年会議所をはじめ、経営者の皆さんが、新型コロナウイルス感染対策に気を付けているのがよくわかります。それは従業員や会社に対する責任感だと思うのですが、注意深く対応されているということ

は東京から見ても感じました。確かに感染者数は増加していますが、防止に成功している県のひとつだと思いますね。

**ふるさと岡山への想いや
検事から政治家を目指した転機**



高山 山下先生は高校生まで岡山で過ごされていますが、地元・岡山への想いについてお聞かせいただければと思います。

山下 私は小中高を岡山で過ごしていますが、成長するにつれて「私たちの岡山市」から「私たちの岡山県」、そして「私たちの日本」さらに世界へと、同心円状に世界観が広がっていったと思うんです。その中心にあるのが故郷・岡山と地元の仲間たちだと思っています。

学生時代は毎日見ていた当たり前の景色ですが、これだけ川の流れがあつて、天下の三大名園とお城が見える景色ってなかなかないですよ。それは大学から東京に行つて本当にいいところだなと考えるようになりましたね。

また地理的にも非常に恵まれています。新幹線が必ず停車する都市で、これだけ広い土地を持っている所は実はないんですよ。またその土地はほとんど干拓、つまり人力でできている。そうしたフロンティアスピリッツも持ち合わせているのが岡山だと思つていますし、県外に出たことにより強く感じるようになりました。

高山 そこから検事になり、政治家の道に進んだのはどういった経緯だった

**明日の日本と
岡山(ふるさと)のために**

高山 山下先生は「突破力」と、「明日の日本と岡山(ふるさと)のために」という理念を掲げていますが、この理念に込められた想いや展望などをお聞かせいただければと思います。

山下 私が政治家になった当初、すごく閉塞感を感じていました。それを突破するための力、「突破力」が必要だと思つたんです。青年会議所のなかにもそうしたブレイクスルーできる力を持っている方もいらっしゃると思います。そうした「突破力」を日本



そう考えるとすごく可能性を秘めていて、現在進めている再開発も含めて、これから伸びそうだなと思わせるところがありますよね。

山下 また岡山は晴れの国という天の利と、交通の要衝でもあり土地が広いという地の利があります。

それに加えて人の利もあるんですね。その中心にあるのが岡山青年会議所じゃないかなと思っています。たとえば 27回目になる「うらじや」もそう、岡山の新しい文化を生み出していますよね。そうした「岡山を良くしたい！」と思っている仲間と一緒に何かを生み出すのは、青年会議所の原点かもしれません。政治家としての私の原点とも重なっていると感じます。



高山 「うらじや」も例年通りに開催しなかったのですが、今年は無観客で配信のみの開催になりました。結果的に多くの方にご覧いただけたのですが、このような状況でできることを考えて、新しいお祭りの形を発信できたのではないかと思いますね。



全体が持つことができれば日本がもっと良くなると思っただけですね。

高山 突破力というスローガンは、新しいことに挑戦したり、若者だからこそできる挑戦をするなど、私たち青年会議所にも通じる部分を感じます。

山下 また「明日の日本と岡山のために」というスローガンは、先ほどお話ししたことにつながるのですが、自分が育った岡山と、そして日本のために働きたい、その仲間の一人になりたいという想いを込めています。

政治と言うと遠いことのように感じるかもしれませんが、岡山を良くするために考えて、皆で方向性を決めていくことは、青年会議所と一緒なんです。

また、大先輩になりますが麻生さんをはじめ政治家にも青年会議所のOBがいらつしやいますし、同じマインドでやっているなという感じですね。

だからこそ高山理事長が掲げられている「ONLY ONE 巻き起こせ fusion!」は、私の理念と重なるところがあるなと思いますね。

高山 仰っていた「ONLY ONE 巻き起こせ fusion!」というスローガンには、JCのやる事業が二

番煎じになってはいけないという想いが込められています。

あくまでも事業の規模よりも質を追求して、我々にしか出来ないことを産官学民連携しながら、岡山が求めていることを実現していく。それがオンラインワンにもつながっていくのかなと思っっています。

山下 青年会議所であれば、先輩後輩のフュージョンや、地域の方々のフュージョンなどすごいエネルギーを巻き起こしていきますね。

政治の世界では派閥のイメージがあるかもしれませんが、フュージョンは僕も心掛けてることなんです。例えば「チケット不正転売禁止法」「空家対策特別措置法」「改正ストーカー規制法」などの議員立法を成立しましたが、これは全会一致でなければいけないんです。

自民党から公明党、そして共産党まで、すべて合意をもらうことで、フュージョンが生まれて良い法律ができるので、高山理事長のスローガンはすごく共感できましたね。

高山 ありがとうございます。

山下 また長期ビジョンとして掲げられている「あつて良かった。岡山JC」というスローガンも良いですね。僕も

会議所にアドバイスをお願いします。

山下 先ほども言ったように岡山は本当に可能性に溢れていて、まだまだこれから発展するところはたくさんあります。

例えばコロナ禍以降、テレワークへの対応が求められています。西日本でテレワークに最適な場所は岡山以外ありえないと思っっています。新幹線を使えば神戸から30分、大阪まで45分です。また飛行機を使えば東京にもすぐに行ける。

これから5G時代になってテレワークが本格的に広がると、岡山の可能性も広がると思っっています。

高山 確かにそういった面でも、岡山県は立地に優れていますね。

山下 また日本は東京一極集中で、半径60km以内はこれだけの人口が集まっている国は、日本だけなんです。また首都直下型地震も30年以内に7割の確率で起きるということを考えると、やはり地方創生、地方分散が日本の生きる道ですよ。私はその一番の候補が岡山だと思います。

たとえば吉備中央町のスーパーシティ構想がありますが、岡山が全国のモデルになれば、こんなに素晴らしいことはないですよ。

また先ほども言ったように、岡山は岡山青年会議所出身の皆さんも含めて、様々な人間のつながりもあります。

そうして岡山を中四国の拠点にしていくという大きな夢を描けるので、ぜひ青年会議所の皆さんには、これからもフュージョンを起こしてもらいたいし、僕もその仲間に加わって、人づくりと街づくりをぜひやっていただきたいと思っっています。

高山 先生におっしゃっていたように、岡山青年会議所のOBには「こんな人が所属していたんだ」という方もいらつしやいますし、歴代の理事長を見ても、本当にすごい団体なんだなという感じですね。

また岡山も再開発が進んでいて、これから5年くらいすると、岡山市の街並みも変わっていくんだろうなという感じですね。

山下 全国の街を見た印象ですが、岡山は人間に例えるとまだ、20〜30代。これからもっと伸びるし、成長していく可能性が秘められていると思っます。だからこそ20代・30代の若手経営者が集まった岡山青年会議所のメンバーが活動することで、岡山はもっと良くなると思っますので、本当に期待しています。

高山 先生におっしゃっていた、長期ビジョンのスローガンは、岡山青年会議所が郷土おかやまに必要不可欠な団体、岡山の方々に「岡山JCがあつて良かった。」と思っただきたという想いがあります。

私たちの活動が将来実って岡山青年会議所があつてよかつたと、心に残るような活動をこれからも続けていきたいと思っっています。

岡山青年会議所へ期待すること

高山 では最後に山下先生の考える岡山の魅力や未来、そして岡山青年

高山 先生も永田町からどんどん発信していただけだと思います

山下 そうですね、私も仲間のひとりとしてがんばります！



「あつて良かった。岡山JC」と言われる活動を続けていく

高山 晃一 Kouichi Takayama

昭和55年1月、岡山市に生まれる。平成14年、流通科学大学商学部を卒業後、伊丹産業株式会社に入社。平成18年に高山産業株式会社に入社し、平成26年に取締役副社長に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成27年7月に入会し、平成30年総務委員理事委員長、平成31年よりまちづくり室副理事長を歴任。



明日の日本と岡山のために fusionを起こしていく

Takashi Yamashita 山下 貴司

1965年9月8日生まれ、岡山県出身。自民党所属衆議院議員(岡山2区)・弁護士、岡山市立宇野小学校・岡大附属中学校・岡山操山高校・東京大学法学部を卒業後、検察庁検事を経て衆議院議員に。第101代法務大臣。「チケット不正転売禁止法」「空家対策特別措置法」「改正ストーカー規制法」などの法案を成立し、ミスター議員立法とも呼ばれる。



出向者報告

ONLY ONE
巻き起こせfusion!

委員長 關 和敏

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 国家グループ 国土強靱化委員会



本年度、公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 国土強靱化委員会に委員長として出向させていただきました。国土強靱化委員会は全国で災害が起きたときに迅速な災害支援を行うほか、本年度は、防災関係諸団体との相互協力協定を締結させていただきました。公益社団法人岡山青年会議所からの出向メンバーをはじめ、全国から出向していただきましたメンバーに協力をいただきながら活動に邁進させていただきました。防災、減災について常に考えることで、一步引いた立場から見た「災害がないまちおかやま」を見ることができました。この経験をLOMに還元し、次年度以降も防災意識の向上を図るとともに、LOMに対しても常日頃からの防災意識の向上をお願いしたいと思っています。最後になりましたが、委員長として出向の機会をいただきまして、誠にありがとうございました。理事長をはじめ、先輩諸兄、メンバーの皆様のお力添えがあったからこそ、一年間委員長として活動していくことができました。皆様にご挨拶をさせていただきまして出向者報告とさせていただきます。

総括幹事 綾部 系一

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 国家グループ 国土強靱化委員会



本年度、国土強靱化委員会の総括幹事として、公益社団法人日本青年会議所に出向させていただきました。コロナ禍の影響で当委員会の一歩の担いである災害支援に対して制限が生じたこと、非常に残念だと感じています。しかし、こんな状況だからこそ何が出来るかを考え、新しく実施することができた事業や支援体制もあり、学びの多い一年となりました。出向自体が初めての経験でしたが、委員長のもと、スタッフとして出向できたことで多くの学びに繋がり、多くの刺激を受け、多くの仲間に出会うことができました。最後にはなりますが、出向という大変貴重な経験をさせていただきまして、ありがとうございました。

副委員長 高島 裕介

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 国家グループ 全国大会運営会議



今年度は国家グループ全国大会運営会議の副議長としての出向させていただきました。予定者の段階から全国大会についてはほぼ無知な状態から各地を飛び回り準備をしてまいりましたが、コロナ禍の状況により2月以降に集まる事も難しくなりましたが、6月頃には徐々に活動も再開し始め、議案や大会構築に奔走していました。8月に全国大会始まって以来のWEBでの配信となり、大きく舵を切った新たな形を模索するなど、今までの人生でも経験することのなかった大きな大会、そして多くの全連への出向者、JCI札幌のメンバーなど多くの出会いをいただきました。また機会をいただき是非出向させていただきたいと思っております。

副会長 小林 佑輔

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 中国地区協議会



本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会の副会長として出向させていただきました。前年から様々な事業を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの事業の中止を余儀なくされましたが、私が担当させていただきました中国地区コンファレンスは、初めての試みとしてWEBでの開催をさせていただき、コンファレンス実施のニューノーマルを確立することができました。また、11月にはSDGsベストプラクティス事業として、初級編・中級編・実践編をそれぞれ設け、SDGsの基礎知識や取組事例などをYoutubeにて公開し視聴いただく事業を実施いたしました。QRコードよりは是非ご覧いただければと思います。なかなか顔を合わせることができませんでしたが、貴重な一年の経験をいただき、一緒に出向した仲間とかけがえのない時間を共有できました。出向の機会をいただきありがとうございました。



副会長 井戸 啓太

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 中国地区 岡山ブロック協議会



私は本年度、公益社団法人日本青年会議所 2020年度中国地区岡山ブロック協議会の副会長として出向させていただきました。コロナ禍の影響を大きく受けはしましたが、岡山県に対する新型コロナウイルスに関する緊急提言や、飲食店・観光業を支援するマップの作製、あたらしい日本を始める合図となる全国一斉花火プロジェクト等の事業を実施し対策および支援を実施してまいりました。また次世代の郷土を担う倉敷芸術科学大学メディア映像学科の共同制作にて、まちづくり参加促進動画「つながるまちづくり」を作成しました。是非、QRコードからご覧いただければ存じます。

この一年の経験を活かし、おかやまのまちにより明るい未来の明かりが灯るよう次年度は岡山ブロック協議会第57代会長を務めさせていただきます。一意奮闘の覚悟を持って邁進してまいりますので、皆様におかれましては変わらぬご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本年度お力添えをいただいた皆様にご挨拶申し上げます。誠にありがとうございました。



2020年度理事長 一年の振り返り

岡山青年会議所が予定しておりました2020年度の対外事業は11月末までに全て終了する事ができました。これも偏に皆様が平素より青年会議所の活動に対してご理解とご協力をいただいている賜物です。ありがとうございます。

今年度のスローガンは「ONLY ONE 巻き起こせfusion!」を掲げて各事業を実施して参りました。新型コロナウイルス感染拡大の渦中ということもあり、当初の計画からは変更を余儀なくされましたが、私たち青年会議所の若者だからできる、このコロナ禍の中の今しかできない、新しいインパクトを郷土おかやまに広げようと、各委員会が手を取り合いながら事業構築に邁進して参りました。

残念ながら今年のうらじやは本祭こそ中止となりましたが、形を変えてオンラインライブとして皆様にお届けできました。併せて、年間を通して身近に感じていただけるよう、公募にて選定したうらじやのデザインが描かれたマンホールやLINEスタンプも作成いたしました。

また、3密を避けながら地域貢献が実施可能な事業として、過去のレガシーを有効活用することで、ご家族やご友人と自粛疲れを解消していただけるドライブシアター事業と、おかやまの40店舗の飲食店様が調理したお弁当のドライブスルー販売事業を実施することで地域経済を支援させていただきました。

そして、創立70周年にあたる本年度は、安心安全に徹底的にこだわり、70周年記念式典と、もちろん寄贈式を執り行う事が出来ました。両日ともお足元の悪い日となってしまいましたが、ご参加くださいました皆様におかれましては改めて感謝申し上げます。私たち岡山青年会議所は地域のあかるい未来の創造にむけて、きっかけを生み出す団体です。本年度は安心と安全を担保したうえで、果敢に挑戦し、知恵を出し合い、ニューノーマルな新しい価値観に基づく様々な活動をおこなってまいりました。未だコロナ禍の中ではございますが、おかやまに住み暮らす皆様にとって、少しでも気持ちが和らいだり、新しい何かを始める契機となりましたら幸いです。

2020年12月31日をもって、第70代理事長としての私の任は終了いたしますが、今年の残りの期間も、次年度に高い位置でバトンを渡せるよう全力で活動して参ります。今後も行政の皆様、企業の皆様、そして岡山市民の皆様のご協力が必要不可欠だと考えておりますので、どうぞ次年度もご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

公益社団法人岡山青年会議所
第70代理事長

高山 晃一
Koichi Takayama

2020 Activity Report

2020年度活動報告

うらじゃマンホール



令和2年7月31日、岡山市役所にて、公益社団法人岡山青年会議所とうらじゃ振興会は、岡山最大のお祭りのひとつ「うらじゃ」を題材に作成されたマンホールを岡山市に寄贈させていただきました。

夏の風物詩としてだけでなく、年間を通してうらじゃを感じていただける事を目的とした本事業は、令和2年3月1日（日）～同年4月17日（金）17：30までの期間にて、小学生の部・学生の部・大人の部を設けマンホールデザインを募集しました。計100点ものご応募をいただきましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ご応募いただいたデザインの中から、各部の最優秀作品1点を決定し、各部2枚を作成後、小学生の部の最優秀作品受賞者と高山晃一理事長、うらじゃ振興会の二垣幸広事務局長とで岡山市役所にお伺いさせていただき、大森雅夫市長に贈呈させていただきました。どのデザインも「うらじゃ」の生き活きとした鼓動感と楽しさをカラフルな配色を用いて表現しています。岡山市中心部の市役所筋歩道を通られる際には、おかやまのまちに新しく設置された色彩を楽しんでいただけたらと思います。



大人の部
最優秀賞



学生の部
最優秀賞



小学生の部門
最優秀賞

うらじゃ無観客Live配信 うらじゃのソコヂカラ2020新卒業

コロナウイルス感染拡大を鑑み、残念ながら本祭は初の中止となった、本年度の「うらじゃ」。4月14日のアナウンスから時は経ち、安全面に最大限配慮したニューノーマルな催しも昨今では増えてきています。公益社団法人岡山青年会議所は、第27回うらじゃ実行委員会様と共に、令和2年11月7日（土）、オンライン配信にて学生連での踊り子・支えてくれた裏方の皆様に、郷土おかやまから贈る卒業の舞台として、うらじゃ無観客LIVE配信「うらじゃのソコヂカラ2020新卒業」の開催を支援いたしました。当日は岡山城を閉鎖し、場内の各所がライトアップされた趣のある空間の中に演舞場を設営いたしました。10の踊り連と卒業生合同連、そして多くの裏方の想いが会場でひとつとなって、午後から降り始めた雨天を吹き飛ばす演舞が上演されました。コロナ禍であっても演舞ができる喜びと、うらじゃを卒業する感情が重なり合い、演舞披露後の踊り連では涙ぐまれている踊り手の方も多く見受けられました。きっと次回のうらじゃはこれまで以上の熱さになる予感を、YOUTUBEでの配信をご覧いただいた方にもお届けできたと思います。フィナーレでは、卒業される方に未来へのエールとして岡山の秋の夜空へサプライズの花火を贈らせていただきました。公益社団法人岡山青年会議所は、岡山の誇りであるうらじゃを次世代に引き継いで参ります。これからも明日へ、届け！うらじゃ！！
こちらのQRコードから当日の様子をアーカイブにて動画配信しております。ぜひご視聴ください。



うらじゃLINEスタンプ

公益社団法人岡山青年会議所とうらじゃ振興会との共同により、うらじゃ公式LINEスタンプを作成いたしました。本年度のうらじゃの本祭は残念ながら中止となりましたが、うらじゃの振興活動として年間を通じて皆様にうらじゃに触れていただける機会を創ってまいります。LINEスタンプを使い、来年のうらじゃへの機運を高めていただければ幸いです。QRコードからうらじゃLINEスタンプのページへ移動しお買い求めいただけます。ぜひよろしくお願ひ申し上げます。



青少年育成セミナー 竹田恒泰公演会



令和2年11月3日（火）、岡山市内の中学生を対象に、竹田恒泰氏を講師にお招きし、オンライン形式にて「日本はなぜ世界で一番人気があるのか」と題し、講演会を開催いたしました。
歴史から日本を学ぶことで、知ること自体の楽しみを感じてほしいという勉強本来の意味から始まり、今なお受け継がれている天皇家の成り立ちや、最初の建国の精神など、歴史の教科書には載っていない内容に加え、岡山という地が日本という国にどのような影響を与えたのかなど、馴染みのある郷土についてご講演いただきました。今回参加していただいた青少年にとって、歴史からの学びを通して、未来を考える良いヒントになったのではないかと思います。

70th ANNIVERSARY

自転車のまち おかやま推進プロジェクト・ももちやり寄贈式典



令和2年10月17日（土）、岡山駅東口前広場にて、創立70周年記念事業として「自転車のまち おかやま推進プロジェクト」の一環として岡山市のシェアサイクル「ももちやり」の特別色「ももいろ」仕様30台を寄贈する式典を執り行いました。

式典の冒頭の高山理事長の挨拶では、本年度が岡山青年会議所70周年であること、その一環としてももいろのももちやりを寄贈するに至った経緯を交えた挨拶の後、テープカットをおこないました。その後は岡山市長 大森雅夫様より感謝状の贈呈と共に、サービスが始まった当初の想いや、なぜ色がグリーンなのかをユーモアを交えお伝えいただきました。

岡山市内を彩るももいろとして、このももちやりが岡山市民の皆様にとって親しみのある交通手段になることを願っています。また、式典の中では、作成した「安全な自転車社会の実現に向けた取組」啓発動画を上映させていただきました。ももちやりに乗りたい「ちびオニのももちゃん」と「ももちゃんのおじいちゃん」が、2人で仲良く自転車を運転する際のルールを学んでいくこの啓発動画は、教習所内等での放映が今後予定されています。QRコードからは非動画をご覧の上、自転車の安全運転の研修および講習等にご活用ください。

これからも岡山青年会議所は、「自転車のまち おかやま推進プロジェクト」に一丸となって活動してまいります。ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



創立70周年記念式典



公益社団法人岡山青年会議所は、10月22日（木）に創立70周年記念式典を岡山市民会館大ホールにて執り行わせていただきました。開会に伴い、入場前のマスク着用、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮し設営いたしました。併せて、YOUTUBEを利用したLIVE配信での中継もおこなわれました。公益社団法人岡山青年会議所は1951年2月、全国9番目の青年会議所として発足しました。終戦後の復興の最中、青年経済人が集まり、地域活性化に向けた多彩な事業を展開してまいりました。そして、創立70周年にあたる本年、県内外のご来賓、関係者の皆様約300人にご出席いただき節目を祝っていただきました。会場全体をスポットライトが飛び交う華やかな中での開会宣言から始まった本式典のなかで、高山理事長か

らは、「新型コロナウイルスで街づくりなどのイベント開催が制限される中、困難に立ち向かうことの大切さを改めて感じました。同じ志を持つ仲間と手を取り、明るい岡山を目指して活動を続けていきたい。」と挨拶させていただきました。その後は、これまでの礎を築き上げてこられた先輩方やご来賓の方々にご挨拶を賜ることで、私たち現役の会員は郷土おかやまのあかるい未来への発展に向けて一層貢献していくことを誓い、2024年までの新長期ビジョン「あつてよかった。岡山」JC（青年会議所）を掲げ、岡山市民の皆様求められる団体で在るよう行動して参ります。

式典の最後では、70周年記念事業の一環として「IKEDA ZOO 活性化プロジェクト」を発表いたしました。このプロジェクトは、岡山県内唯一の動物園である池田動物園に、2021年4月キリン1頭を寄贈することで、地域の活性化を図ると共に、その後も継続的に協議を重ねて、岡山の魅力を高め発信して参ります。どうぞご期待ください。



地元の“美味しい”はコロナに負けない。

Okayama Favorite Food

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、苦境に立たされている地域の飲食店も少なくありません。緊急事態宣言が解かれたとはいえ、時短営業やテイクアウト、新しい生活様式に対応した営業への支援はまだ必要とされています。岡山青年会議所では、地域の皆様の食生活を応援する、コロナに負けない!青年会議所会員の飲食店を紹介します。

吉備土手下麦酒醸造所

観光のお土産ものや、高い輸送コストのかかる県外出荷に重点をおくのではなく、地元の方に気軽に飲んで愛してもらえる、街角の豆腐屋のような地ビール屋を合言葉に活動している「吉備土手下麦酒醸造所」。

醸造所に居酒屋を併設しているため、新型コロナウイルスの影響も大きく、定期的な換気や手指消毒用のアルコール消毒液の設置、非接触型の検温器の設置など、感染予防を実施しながら営業されています。

現在、一押しの商品を伺ったところ、岡山県真備産の麦芽を使用した「OKラガー」とのこと。岡山の麦とホップと水で醸したボヘミアンピルスナーで、香りの主張が多くなく、地ビールに苦手意識のある方でも飲みやすい麦酒。また食べ物の個性を邪魔しないため料理との相性も良いとのこと。お店自慢のビールと料理をぜひお楽しみください。



03

吉備土手下麦酒醸造所

〒700-0803
岡山県岡山市北区北方4丁目2番18号
TEL:086-235-5712
営業時間:11:30 ~ 22:00
(火曜日のみ17:00~22:00)



中山昇陽堂 さんすて岡山店

中山昇陽堂は70年に渡り岡山の地に親しまれてきた老舗のきびだんご屋さんです。

今年、岡山駅構内のさんすて岡山店をリニューアルした直後に起きたコロナ禍の影響により時短営業と与儀なくされていた期間もありました。

しかし、現在では通常の営業時間に戻ると共に、検温と手指の消毒、レジ前のアクリル板の設置、毎日全ての備品を徹底的に消毒しています。そして、ご来店いただいたお客様には「このような時だからこそ、明るい気持ちになっていただけるよう丁寧な対応と笑顔での接客をこころがけています。」と店舗スタッフの小原さんが話してくれました。

おすすめの商品を伺ったところ白桃やマスカット等、5種類のラインナップ毎に小さいふくろに入ったかわいらしい「ちび桃きびだんご」、そして、香ばしいきびの風味とつぶしあんのハーモニーが楽しめる「あんきび」がおすすめとの事でした。

密を避けるため離れた空間の確保が必要な昨今ですが、「こころ繋ぐ陽(あたた)かな菓子づくり」の理念のもとに真心こめて作られた岡山銘菓を、是非お取引先さまやご家庭へのお土産としてお買い求めください。



04

中山昇陽堂 さんすて岡山店

〒700-0024
岡山県岡山市北区駅元町1-1-1
岡山駅2階 新幹線改札前
TEL:086-223-8554
営業時間:7:00~21:00



焼肉 桃苑

1974年に創業し、46年の歴史ある焼肉店「桃苑」。最大80名の大宴会ができる座席があり、個室から宴会まで、幅広い客層に対応できるのが魅力の1つです。

岡山市内でも新型コロナウイルスにいち早く対応した飲食店でもあり、4月には休業を実施して透明のパーティションを各席に配置し、タブレットでの注文を行えるなど店内を徹底的にウイルス対策して5月に再開しました。

また、焼肉店として約3分で店内中の空気が入れ替わる換気性能を設けており、飲食店の中でも安心して食事できる環境を整えています。

昨今では、Gotoチケット利用者が多く訪れ、夜の飲食だけでなく、昼のランチメニューも人気です。

幹事の皆さまにとっては、これから忘年会や新年会のシーズンですが、安心安全な環境で宴会をすることができる「桃苑」に、予約をしてみたいかがでしょうか。



01

焼肉 桃苑

〒700-0816
岡山県岡山市北区富田町2-11-16
TEL:086-223-0889
営業時間:[ランチ]11:30~14:00
[ディナー]17:00~23:00
定休日:火曜日、水曜(ランチタイム)
(Go toチケット、PayPay、クレジットなど各種決済が可能)



焼肉 銀河 中央町店

岡山の繁華街で多くの方に親しまれている「焼肉 銀河」。いつもは、満席の賑わいを見せている店内が、新型コロナウイルスの影響で5月から8月までは店内もまばらだったとのことでした。

しかし、9月以降は少しずつ客足も増え、昔の賑わいを見せてつづいています。GO TOキャンペーンを利用し、1日に10グループ以上の客がチケットを利用することもあるそうです。

中央町店の店長におすすめメニューを訪ねたところ、「当店の自慢は、繁華街の好立地でもあり、単に焼肉だけを提供するのではなく、サイドメニューの豊富さです」と生キウイサーバーをつくりながら笑顔で答えてくれました。

これからの季節、飲みに行く際には「銀河」にお立ち寄りいただき、店長自慢のサイドメニューと美味しいお肉をご賞味ください。



02

焼肉 銀河 中央町店

〒700-0836
岡山県岡山市北区中央町1-7-1
TEL:086-226-1118
営業時間:[月~土・祝前日]17:00~4:30
[日・祝日]17:00~24:00
(Go toチケット、PayPay、クレジットなど各種決済が可能)

